

令和3年度 生徒生活アンケート 配布対象:全校生徒 実施日 令和3年11月19日～25日 回収率1年88.0% 2年89.2% 3年85.7% 7組80%

4月と11月に数値の記載がある項目は、4月に行った区学力調査における生活アンケートとの比較。11月のみの項目は学校独自のもの

肯定的な意見 *11月アンケートは、「あてはまる」「だいたいあてはまる」の合計

7組は11月のみ。

単位%

項目	1年		2年		3年		7組
	4月	11月	4月	11月	4月	11月	11月
1 学校に行くのが楽しい。	90.5	85.3	86.2	85.4	86.3	89.2	90.0
2 今の学級をよりよい学級にしたいと思う。	92.1	91.1	91.6	94.9	91	93.1	95.0
3 勉強は大切だと思う。	96.3	96.4	94.0	97.4	95.8	96.0	100.0
4 授業のはじめに示された目標(めあて、ねらい)を理解し、見通しをもって学習に取り組んでいる	80.9	95.8	78.4	95.6	88.9	96.6	90.0
5 1日の学習時間(塾や家庭教師の時間を含む)。 ※1日平均で、①2時間以上 ②1時間以上 ③30分程度 ④ほとんどしない		2時間以上 17.6% 1時間以上 37.6%		2時間以上 13.9% 1時間以上 47.5%		2時間以上 49.7% 1時間以上 41.7%	2時間以上 15% 1時間以上 25%
6 翌日の授業などの準備は前の日にしている。	92.0	85.3	85.0	80.4	74.1	73.8	100.0
7 わからないことはそのままにせず、わかるまで努力をしている。	78.1	65.9	62.9	76.6	71.4	85.7	70.0
8 朝読書を含めて、月1冊以上読書をしている。		68.9		34.2		34.3	70.0
9 進路の学習等を通して、将来の夢や希望をもつことができた。		79.4		71.5		72.0	85.0
10 あいさつ、服装、持ち物などについて学校のきまりを守っている。	98.4	95.9	94.0	96.2	98.4	96	85.0
11 努力すれば自分もたいていのことはできると思う。	82.4	88.2	83.8	87.4	85.7	81.7	95.0
12 不得意なこと、苦手なことでも自ら進んで取り組もうとしている。	72.6	83.6	61.1	73.4	73.0	77.7	90.0
13 自分には良いところがある。	64.5	77.6	66.9	68.4	78.8	74.8	90.0
14 自分のがんばりを、保護者や先生方に認められていると感じる。		82.9		68.4		74.3	90.0
15 自分自身や自分のまわりで、SNSに関するトラブルがあった。		15.3		10.8		8.0	25.0
16 嫌なことや困ったことがあったとき、相談できる友達がいる。		88.9		88.7		90.3	80.0
17 困ったことがあったとき、相談できる先生(スクールカウンセラーを含む)がいる。		81.8		70.2		74.9	85.0
18 家族とよく会話をしている。		95.3		89.9		88.0	85.0
19 今住んでいる地域に貢献できるような大人になりたい。	70.7	85.9	59.9	73.4	58.8	76.6	90.0

斜体太字は11月が減少 太字は11月が上昇 1%は無視

生徒生活アンケート分析

今年度も新型コロナウイルス感染症と共存しながら、教育活動を実施することになりました。昨年度は長い休校期間があり、不安感の増加や自己肯定感の減少が数値以外にも感じられることが多くありました。

感染拡大の波は何度か襲ってきましたが、昨年度と比較すると、様々な活動を展開できたことは大きな進歩でした。特に6月に分散して行った運動会は、生徒の大きな成長を促す場となりました。設問13の「自分には良いところがある」が大幅に増加しているのはその影響が少なからずあったと思われます。

9月に休業期間が延長され、リモート授業も実施されました。修学旅行、魚沼自然教室が延期になるという、つらい結果を受け止めなければならなかったのですが、一方で飛躍的に進んだICTの活用は、生徒、教員に自信をもたせました。設問11の「努力すれば自分もたいていのことはできると思う」、設問12「不得意なこと、苦手なことでも自ら進んで取り組もうとしている」の結果が、わずかではありますが伸びが感じられるのはこのような経験の影響があったと考えています。

「今住んでいる地域に貢献できるような大人になりたい」は区や全国の平均値と比較しても高い数値です。新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の皆様と生徒が触れ合う機会はほとんどありません。しかし、全ての学年で大きな伸びを見せています。生徒の地域に対する帰属意識は高く、これは日頃から、本校を支援していただいている地域の皆様の熱い思いが生徒に伝わっているからだと感じています。

一方、設問15の「自分自身や自分のまわりで、SNSに関するトラブルがあった」が昨年度と比較し大幅に増加していることが大変心配です(昨年度は全ての学年が10%以下でした)。様々なアプリケーションが開発され、誤った自己判断で便利なアプリケーションを使用する生徒が増加しています。ネットリテラシーに関しては、学校でも様々な場面で取り上げ指導していますが、改善していくためにはご家庭の協力が欠かせません。ファミリーールールの確認を必ずしていただき、お子様の活用状況を定期的にご確認ください。

令和3年度も残り3か月。第6波が来るのか来ないのか、変異株の感染力はどうなのか、心配はつきません。しかしどの様な状況であっても、常に可能性をさぐって、制限ある中でも教育活動を展開していきたいと考えています。